

市民と歩む議員の会 議会報告

発行 市民と歩む議員の会 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 (吹田市役所内) TEL 06-6384-1231(代表)

吹田市議会議員(無所属)

ば ば
馬場けいじろう

みんなで創ろう
元気な吹田!!



連絡先 〒564-0041 吹田市泉町5-3-5 TEL 06-6389-8555 FAX 06-6389-8558
E-mail babakeijiro@gmail.com URL http://www.baba-keijiro.com

コロナ禍における 支援策について

馬場 市民生活や事業活動への支援について各部署で検討するに当たり、限られた財源の中、市としての基本的な考え方があるのか。

行経 本年3月以来、休校、緊急事態宣言、外出の自粛や休業の要請、新しい生活様式への対応など、異例の状況下で、全ての市民が様々な形で影響を受けている。そうした中、とりわけ影響の大きい子育て世帯と小規模の事業者、店舗、また、負担が増している医療福祉現場への支援に重点を置いて、緊急対策アクションプランを取りまとめた。

副市長 今後も国、府の助成制度等の動向も把握しつつ、市として実施すべき内容を速やかに取り組めるように努めていきたい。

中核市としての取り組み

馬場 中核市市長会として、新型コロナに関する緊急要請を国に対し3度行っている。その中には吹田市としての主張も盛り込まれているのか。

行経 緊急要請の作成に当たっては事務局から照会があり、経済雇用対策の実施、独り親世帯等に対する支援、介護サービス継続のための支援など、本市からの要望も含めて取りまとめられている。

馬場 第1弾の要請には、検査を担う専門職等に限られることから、官民を問わず、検査機関間で相互支援をできるように、全国的な人員の応援体制を整備すること。保健所への医療的な相談件数が増加した場合でも、効果的、効率的に対応できるように、複数の自治体が共同で設置、委託できるように、コールセンター体制を整備することなど、非常に重要な指摘が盛り込まれている。政府がどのような検討をしたのか、把握しているか。

健康 4月1日の中核市市長会の緊急要請は、医療提供体制の維持について、様々な項目を要望している。個々の項目に対する国の検討状況について、本市としては把握していない。

馬場 要望にとどまることなく、中核市市長会を通じてでもいいので、検討状況は把握すべきである。

吹田市保健所の業務について

馬場 保健所設置自治体となり多くの市民が注目しているにもかかわらず、保健所からの情報発信が少なく、とても残念である。4月の臨時会でも改善を求めたが、どのように検討したのか。

健康 新型コロナへの対応に追われる中ではあるが、ホームページ等を活用し、市民に必要な情報を分かりやすく提供できるよう、可能な限り努めてきた。一定落ち着いた現時点においては、第2波の感染拡大に備えた正しい知識や、各種保健所業務に関する情報について、より分かりやすく速やかに提供できるよう努めたい。

保健所からの情報発信

馬場 新型コロナに関して、吹田市保健所としてどのような対応をしているのか、ホームページなどからは全く分からない。職員の方々が頑張っているのに、とてももったいないと感じている。

健康 可能な限りホームページ等で発信してきたが、分かりにくいとの指摘については真摯に受け止めたい。新型コロナに関する保健所の対応は、大きく3つの柱で実施している。1つ目は、受診相談センターとしての機能及び帰国者・接触者外来への受診調整。2つ目は、陽性者の療養体制の調整や、濃厚接触者への健康管理などの患者対応。3つ目は、医療物資の提供など、医療機関への支援である。いずれの業務においても、対象者や医療機関等、相手の状況に合わせながら丁寧に時間をかけて取り組んでいる。

保健所の電話対応は適切だったのか？

馬場 感染が疑われる際にきちんと検査してもらえるのか、多くの市民が不安を覚えている。保健所の電話が繋がらない、受診の基準を完全には満たさないために医療機関をたらい回しにされる事例は吹田でも多く発生している。

保健所に設置された「帰国者・接触者相談センター」には、1日何件ほどの電話があり、そのうち何件に対応できるのか。また、どういう職種の方が何名で対応しているのか。

健康 受診相談センターの相談件数について、最も多かったのは4月13日で、夜間も含め208件であった。保健所の電話回線は最大8回線だが、4月初旬は業務時間中、ほぼ全ての回線が塞がっている状況であった。

4月20日からは、日中の受診相談センターの業務を外部委託することにより、保健所への電話相談は減少し、余裕を持って対応することが可能となった。委託先では、看護師を含めた相談員5名で対応している。

馬場 電話対応のマニュアルの概要を示してほしい。

健康 厚生労働省の作成するQ&Aに基づき、相談対応するものとなっている。さらに本市では、厚生労働省が定める受診の基準に加え、クラスター対策の一環として、医療従事者など、感染した場合に社会機能を維持する上で大きな影響を与える職種については、より丁寧に対応できるよう、独自マニュアルを作成し、取り組んでいる。

受診の目安

馬場 帰国者・接触者外来の受診の目安として示されていた「37.5度以上の発熱が4日間以上」の条件が、5月8日に改定された。加藤厚労大臣によると、「相談や診療を受ける側の基準のように思われてきた。我々から見れば誤解だ」とのことである。吹田市保健所でもこの誤解に基づいて対応がなされてきたのか。

健康 厚生労働省の示す目安に基づき、相談のあった市民の方へは症状、基礎疾患、接触歴、職業など、相談者の状況をきめ細かに把握し、重症化しやすい方や、医療従事者など感染した場合に社会的に影響の大きい職種についてはより丁寧に対応し、帰国者・接触者外来への受診につなぐなど、総合的に判断してきた。

5月8日に厚生労働省の相談の目安が改定されたことにかかわらず、従前どおりに対応している。

検査能力の拡充が必要

馬場 検査については、吹田市保健所から医療機関に依頼するわけだが、検査能力は1日最大何人なのか。

健康 1日に可能なPCR検査の件数については、検査機関等の受入れ数及び試薬の流通状況などの影響を受けるため、具体的な数字を申し上げることはできないが、これまでの実績では1週間で最大176件である。

馬場 その能力を向上させるには何が不足しているのか。臨床検査技師の人数なのか、予算なのか。

健康 検査能力を向上させるためには、受診相談センターの相談体制や、帰国者・接触者外来等での検体採取体制、検体の搬送体制、検査機関での検査体制など、全てにおいてバランスよく体制強化される必要がある。

これまで本市では、受診相談センター業務の委託、ドライブスルー方式の実施による検体採取体制の拡充、検体回収を含めた民間検査機関の活用等に取り組んでおり、結果、本市のPCR検査の人口対受検率としては、府平均の2倍弱の実施率となっている。

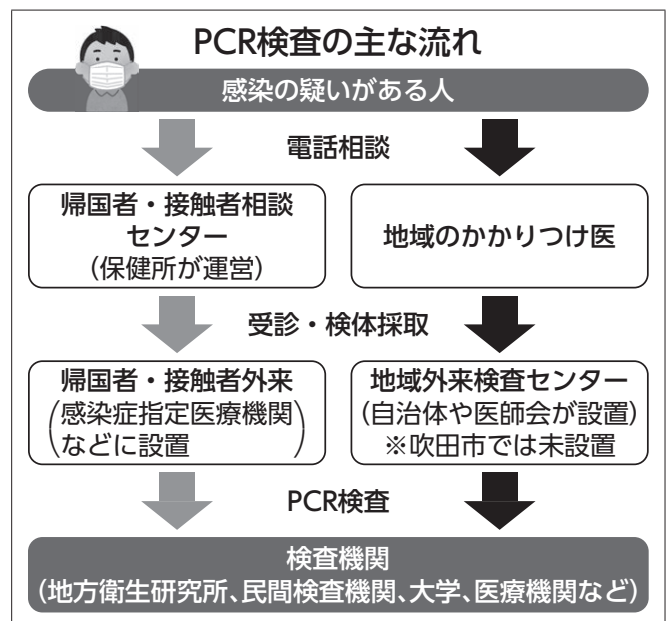
地域外来検査センターを設置せよ

馬場 4月15日に厚生労働省は、PCR検査の拡充のため2つの通知を出し、帰国者・接触者外来の対応能力向上のための発熱外来の設置やドライブスルー方式の採用、医師会への委託による地域外来検査センターの設置など、検査体制を確保するよう自治体に求めたが、本市ではどのような検討が行われたのか。

健康 厚生労働省の通知や、市対策本部会議の指示を踏まえ、吹田市医師会とも協議を進め、ドライブスルー方式での検体採取を行うことにした。また、検査機関を複数確保するなど、様々な取組を行いながら検査体制の整備を進めているところである。

馬場 地域外来検査センターの設置は、保健所の負担軽減にもつながる。大阪府として医療圏ごとに設置するという報道もあるが、本市には相談がないとのことであり、中核市として独自の判断が求められていると考える。吹田市での設置に向け、前向きに検討すべきである。

※地域外来検査センター（PCRセンター）…保健所を介さず、病院や診療所など地域の医療機関から感染の疑いがある患者を直接受け入れ、PCR検査を実施することができる。



歯科医師会との連携強化

馬場 検体採取は歯科医でも可能との方針も示されている。歯科医師会とは協議を進めているのか。

健康 厚生労働省の通知では、検体採取業務を行うことができる医師等の確保ができず、医療提供が困難になるという状況であれば、時限的、特例的な取扱いとして、歯科医師が検体を採取できるものとされている。本市では、そういった状況に該当しないと判断し、吹田市歯科医師会との協議は特に行っていない。

馬場 私は現状でもPCR検査体制は不足していると考えており、市とは認識が異なる。しかし、第2波、第3波に備えるには、歯科医師会との連携が必要となってくる点は一致するはずである。いざというときはご快諾いただけるように、事前に協議をしておくよう要望する。

唾液によるPCR検査の普及

馬場 6月2日には、唾液を用いたPCR検査にも公的保険が適用されることになった。吹田市としてどのように対応するのか。

健康 PCR検査の検体として、新たに唾液が追加され、本市においても6月8日から唾液によるPCR検査の併用を帰国者・接触者外来等に通知している。

検体の採取方法は医師が判断するが、唾液によるPCR検査は医療従事者への感染リスクが低いことから、多くの医療機関で実施していただけるよう、医師会等の関係機関と協議を進めていく。

保健所業務の維持

馬場 吹田市保健所の保健師が罹患した場合、機能停止が危惧される。大阪府や近隣中核市との人員の融通、応援体制について協議しているか。

健康 新型コロナが今後、再流行した際に、保健師が感染することも十分に想定する必要があると認識している。しかしながら、大阪府や近隣中核市においても、保健師を派遣できるほどの余裕はなく、保健師が感染しても基本的には本市で対応していくものと考えている。状況に応じて適切に対応していく。

教育委員会の対応

馬場 5月6日までだった臨時休校について、吹田市では4月28日付けで5月10日まで延長した。5月2日からは連休であり、その僅か4日前の発表というのは遅過ぎる。なぜそこまで決断できなかったのか。

教育監 5月7日以降の臨時休業期間の延長は、国の緊急事態宣言の延長を踏まえた府の要請や、市内感染状況を鑑みた上で決定をした。

馬場 このとき寝屋川市は府の要請どおりではなく、5月31日まで延長した。神戸市や西宮市も同様に、休校期間の学習支援についてもいち早く対応している。

小刻みに延長するのではなく、大幅に延ばしたほうが本格的な対策に着手することができたのではないかと。

教育監 本市では、学校再開の準備を進めつつ、一方で臨時休業期間が長期化することも想定し、慎重に対応してきた。児童、生徒が教科書を見ながら計画的に家庭学習に取り組めるよう、市教育委員会で作成した家庭学習課題等のモデルを学校に提供し、学習支援の対策を講じている。

馬場 教育委員会では、国や府の方針を待ってからの対応が多いように感じる。学校再開か休校延長かによって、保護者の勤務にも影響が出る。教育内容についてはもちろんだが、認められる範囲内で積極的に、そしてなるべく早期に独自の判断で対応してほしい。

休校期間中の留守家庭児童育成室

馬場 5月31日までの臨時休校の再延長が決定された際、それまでは午前中から臨時開室していた留守家庭児童育成室について、5月11日以降は13時からの通常保育となったが、それはなぜか。

地教 小学校の臨時休業に伴い、3月2日から2か月以上にわたって育成室を開室し、一日保育を実施してきた。

その間、感染者が発生しないよう、細心の注意を払いながらの保育に努めてきたが、5月11日以降においては、小学校での自習活動の見守りの対象として、育成室の入室児童も加えてもらえることとなったため、通常の保育時間に変更することになった。

学習の遅れの挽回

馬場 授業時間の確保のために夏休みが短縮されるわけだが、これだけで大丈夫なのか。授業を効率化するため、学校以外でも学べる単元を振り分ける考え方があると聞くが、その考えを採用するのか。

教育監 今年度は長期休業期間中に授業日を設定する、週当たりの授業時間数を増やすなど、履修に必要な時間数を確保する計画を立てている。また、学校での授業と家庭学習を効果的に組み合わせ、学習内容の定着を図ることや、指導順序の変更、同じ系統の内容を重ねて学習するなどの工夫を行い、限られた時間の中で適切に教育過程を実施していく。

馬場 短い期間の中で学習の遅れを取り戻すには、家庭学習で遅れを補うことが前提になるとの意見もあるが、家庭で落ち着いて勉強に臨める児童・生徒ばかりではない。地域による学習支援など、対策が必要である。

教育監 補充学習などの個別支援については、必要に応じてボランティア等、地域の協力も得ながら、学校と家庭が緊密に連携して子供たちを支えていくことで、より重層的な取組になると考えている。

学童保育に入室していない子どもの見守り

馬場 小学校の夏休みは学年によって期間が異なることになる。留守家庭児童育成室や低学年児童の見守りなどはどのように実施されるのか。

地教 小学校の夏季休業期間中における育成室の開室については、小学1・2年生の休業期間に合わせ、例年と同様に7月21日から8月24日までの間、午前8時30分からの一日保育を実施する予定である。

教育監 臨時休業に伴う措置として行っていた小学校での預かりは予定していないが、対処の方法について関係部局と検討する必要があると認識している。

馬場 親がパート勤めをする時間、小学1年生の弟や妹を、3・4年生の兄姉が世話をするという事例があると聞く。親の仕事に影響がでることであり、早期に解決策を示してほしい。

※検討の結果、夏期限定での留守家庭児童育成室への入室を認めることで対応することになりました。

避難所での感染を防ぐために

馬場 内閣府では、避難所における新型コロナへの対応として、①できるだけ多くの避難所を確保する、②親戚や知人宅への避難を検討する、③ホテルや旅館を活用する、という内容の通知を出しているが、本市としての対応を示してほしい。

危機 市報すいた5月号にて避難所での感染防止対策の必要性や、避難先として避難所以外の選択の可能性などを周知した。また、ホームページにおいても、避難所開設時の感染を防ぐ対応策等について、広く周知を図っている。

大阪府の指針では、避難者1人当たり4㎡程度が必要とされており、多様な施設を避難場所として活用すること、自宅での垂直避難、親戚や友人宅への避難など、分散避難についても検討を進めているところである。

馬場 八尾市では、段ボール製の間仕切りや簡易組立て式ベッドを使い、体育館で避難所を開設する訓練を5月20日に行っている。また、西宮市では、5月22日の臨時会で3密回避のために必要な間仕切りパーティション等の資機材を備蓄するための予算を含む補正予算が成立している。

本市でも早急に避難訓練を実施し、備品の手配にも着手すべきである。

危機 避難所における感染拡大防止には、密閉、密集、密接の3つの条件を回避し、飛沫感染や接触感染を防ぐため、パーティション等の資機材が必要と考えており、配備に向けた準備を進めているところである。

また、資機材を配備するだけでなく、実際に訓練を実施することで感染拡大に留意した開設・運営を行っていきたくと考えている。

コロナ禍における市民参画

馬場 現在、北千里小学校跡地への複合施設建設、また北千里保育所跡地への高齢者施設、保育施設の誘致が進行している。本来であれば住民説明会を開き、概要の説明や地域住民からの要望の集約を行うべきであるが、感染拡大防止のため実施できていない。



大人数での集会が開催できないからといって、市民参画の場をなくしていいことにはならない。今後実施する様々な施策について、パブリックコメントのみで終わることなく、できる限り工夫を尽くすよう庁内で認識を共有してもらいたい。

地教 北千里小学校跡地複合施設については、建設整備基本計画素案に対するパブリックコメント以外にも、市民を対象としたワークショップを6回、市民説明会を2回、その他、北千里地区の小・中学生や北千里高校、大阪大学の学生などからアンケート、意見聴取を実施し、住民参加の機会を確保してきた。今後も1人でも多くの方に喜んでいただける施設になるよう、感染拡大防止を踏まえた上で、住民に対して丁寧に説明していきたい。

福祉 北千里保育園跡地での地域密着型サービスの公募については、感染拡大防止の観点から、近隣連合自治会の役員の方々に限定して説明を行い、ご意見をいただいた。施設整備に関する情報を市のホームページで発信し、住民への周知を図っていく。

副市長 当面、感染症対策を確実に実施していく必要のある状況下ではあるが、可能な限り様々な手法を用いて、情報の周知に努めながら、市民参加の機会の確保に努めていきたい。

健康 = 健康医療部長

危機 = 危機管理監

行経 = 行政経営部長

地教 = 地域教育部長

福祉 = 福祉部長

9月定例会は9月9日から10月5日まで開催予定

⇒「市民と歩む議員の議会報告」次号は10月中旬に発行予定です。

馬場けいじろうプロフィール

昭和52年9月28日生まれ

西吹田幼稚園、吹田第二小、吹田第六中、東大寺学高校、早稲田大学政治経済学部卒

平成27年4月 吹田市議会議員 初当選（現在2期目）

〈議会での役職〉

健康福祉常任委員会委員、議会広報委員会委員、議会運営委員会小協議会委員、都市計画審議会委員